



防災訓練で 日ごろの備えを

防災の日（9月1日）は、関東大震災にちなんで「災害への備えを怠らないように」との戒めを込めて制定されました。町内では、9月3日家房自治会、10月1日三ツ松自治会で防災訓練が行われました。両自治会とも南海地震と津波からの被害軽減のための訓練で、「避難訓練」「炊き出し訓練」「災害時要援護者救助訓練」「避難所運営訓練」「防災マップ作成」などを行いました。参加者も両自治会で300人を超え、関心の深さがうかがえました。

最近の気象は、梅雨前線の長期停滞、大型台風の影響や竜巻など、今までにあまり経験したことのない災害が発生しています。また、地象においては、大分県沖の伊予灘で地震が発生しています。

東南海・南海地震は、今後30年以内

に発生する確率が50%と言われていますが、国内を見てもみますと今後30年以内に発生する確率が99%の宮城県沖地震や、80%以上と予想される東海地震などがあります。日本各地で想像を超える災害が発生しています。いつ、周防大島町で発生してもおかしくありません。お配りしています防災ガイドブックを参考に、我が家の備えを進めてください。

三ツ松地区



家房地区



コスモス花壇整備



平成18年度の宝くじの助成金（200万円）により、緑化推進コミュニティ助成事業を活用して、土居坂のコスモスロードに散水栓等を引き込み花壇を整備しました。色とりどりのコスモスが、道行く人々や休憩に訪れた人々を楽しませています。

離島に対する消防ポンプの配備

（社）日本損害保険協会より離島における消防施設の強化を図ることを目的として、消防用小型動力ポンプ（B2級）が消防団東和支部情分団に寄贈され、10月18日両源田港において引き渡しを行いました。

配備される寄贈品には、吸水管や筒先など消防用ポンプに係る付属品の他、消火栓開閉金具など一式があり、島民の防災の向上のため有効に活用していきます。

